

未来型図書館の「いま」をお伝えします！

みんなでつくる未来型図書館



ニュースレター vol.10



昨年は、基本構想に掲げる未来型図書館の機能の具体化に向け、対話と活動のプラットフォーム「こまつリビングラボ」がスタート。また、既存施設の集約・再編、具体的な立地場所や導入機能などの基本的な考え方も整理しました。

今年からは、施設の整備・運営などの基本計画づくりに取り組んでいく予定です！

基本的な考え方

令和5年度は未来型図書館の整備に向けた具体的な立地場所の選定をはじめ、経年による老朽化や機能・用途のあり方が課題とされてきた公会堂、博物館、図書館を中心とした既存施設の集約・再編や機能の見直しなど、様々な事業課題について調査・検討を進めてきました。

9月議会では、既存施設の集約・再編等の基本的な考え方を、12月議会では具体的な立地場所や導入する機能、施設規模についての方向性を示しました。主な内容は下記のとおりであり、年度内に事業方針をとりまとめる予定です。なお、詳しい内容は市ホームページに掲載しています。

- 立地場所** ・ 公会堂が立地する一団の土地 (約6,800㎡)
公会堂を解体し、図書館・博物館・教育研究センターは、機能の再編・集約または移転ののち解体し、跡地は広場等の公園施設として一体的な活用を図ります
- 導入機能** ・ 図書館、博物館及び公会堂の大ホールを除く機能を集約・再編
・ 市民ニーズが高い「飲食スペース」や「キッズルーム」「市民交流スペース」などを 新たな導入機能 として想定
- 施設規模** ・ 建設可能な延床面積の上限は、公共施設マネジメントの観点から 約9,000㎡ と想定

リビングラボ

11月25日(土)に富山市にある未来共創拠点「スケッチラボ」へリビングラボにご参加いただいている市民の方と未来型図書館チームの職員19名で視察に行きました。スケッチラボは、ビジョンを描きながら未来共創会議やビジネスプランコンテストなどを通して、意欲的な若者に仲間づくりや挑戦の機会を提供する交流・共創の場として機能しています。今後も市民のみなさんと全国の事例を学ぶ機会を設けていきたいと思っています。

参加者の声

- スケッチラボのような機能が未来型図書館にも必要！
- これからもリビングラボを通じて、よりよい小松の未来を共創していきたい
- 自分達が今取り組んでいることの意味を改めて確認できた



12月10日(日)に第4回こまつリビングラボを開催しました。第4回も子どもから大人まで約60名のみなさんにご参加いただきました。

第4回のテーマは「未来型図書館と **まちの回遊性** を考えよう！」。市内にある地域資源「人・モノ・コト・場所」をみんなで再確認し、それらを活用した回遊性方策のアイデアを考えました。

「アプリを活用したスタンプラリー」や「ストリートピアノを設置して音楽が聴こえるまち」、「飲食店とコラボした勤進帳マラソン」など、様々な視点からユニークなアイデアがたくさん！みなさんの素敵なアイデアは、市ホームページよりご覧ください。

また、今年度最後となる **第5回は「リビングラボのこまつモデルを考えよう！」** をテーマに **2月4日(日)** に開催します。みなさまのご参加をお待ちしております。



みんな楽しくワークショップ！



顔認証技術も体験しました

本の貸出時など様々なシーンに活用できそう！



子どもたちが積極的に発表してくれました！

裏面もチェック！

図書館エディター

令和4年度に開催した図書館エディター養成講座(第1期)を修了した受講生を対象に図書館エディター「こまつオルワ's」を令和5年5月に結成。学んだスキルを活かし、未来型図書館の立地エリアである芦城公園周辺の施設や店舗への取材を通じた小冊子とコラムの作成に取り組んできました。この度、12月に小冊子「こまつを綴る」が完成!小冊子には、活動紹介やインタビュー内容、オルワ'sさんコーナーなどが掲載されており、市ホームページからもご覧いただけるほか、コラムについては未来型図書館noteに掲載しています。

また、2月には、図書館にて小冊子や取材先でお聞きした「おすすめ本」を活用した企画展を開催予定です。

今後は第2期の受講生を新たなメンバーに迎え、「人・モノ・コト」をつなぐ活動を展開していきますので、ご注目ください!



是非、ご覧ください!

子ども司書

令和5年11月から12月に第2期子ども司書養成講座を開催。第2期では、11名の子ども司書が誕生しました。12月23日(土)には、第1期受講生で結成した「こまつ子ども司書クラブ」に、第2期生を新たに迎える加入式を行いました。小学4年生から中学2年生21名での活動がスタートし、これからみんなで楽しく様々な活動にチャレンジしていきます!3月には、令和6年度の年間活動計画を立てるほか、クラブの愛称なども考えていく予定です。



応援をよろしくお願いします!

サウンディング調査

令和5年10月には、県内での官民連携セミナーにて宮橋市長自ら未来型図書館づくりについてアピールされたほか、11月には、事業者の皆さまとの官民対話(サウンディング調査)も実施しました。

民間機能や整備・運営手法、公園の活用など多様なアイデアやご提案をいただきました。
結果の概要は市ホームページよりご覧ください。



みんなでつなぐ未来型図書館

リレーエッセイ

第10回目は宮橋市長です!

「市民と共に創る未来型図書館」のプロジェクトがスタートして今年で4年目を迎えます。初年度の令和3年度は、市民アンケートや各種団体との意見交換会をはじめ、講演会や市民ワークショップの開催、子どもたちからの絵画募集などを通して、広く意見・ニーズの把握を行いながら機運醸成に努めてまいりました。

令和4年度は、専門家や学識経験者等で構成する基本構想策定委員会において、未来型図書館のビジョンや基本方針の具体化、立地候補エリアの意見集約に向けて議論を進め、市民ワークショップの開催なども通じて基本構想を策定しました。

令和5年度は、立地エリアとして選定した芦城公園内にある公共施設の集約・再編やビジョン・コンセプトを実現する機能の検討等、公共施設マネジメント事業と一体となった総合プロジェクトとして調査・検討を進め、12月には立地場所や導入機能等についての基本的な考え方をお示したところです。

また、新しいまちづくりに挑戦し続けていくため、本市の将来像を描いた「2040年ビジョン」も完成いたしました。今を生きる私たちには、先人が築き上げてきた素晴らしい歴史や文化を受け継ぎ、50年・100年先を見据えたまちづくりを進めていく使命があります。

芦城公園内の施設が抱える様々な課題について、未来型図書館づくりを通じて、その解決にチャレンジし、新たな市のシンボルとして、皆様の思いが溢れる施設づくり・まちづくりを目指してまいります。



宮橋 勝栄 市長

お知らせ

現在、未来型図書館づくりについてのWEBアンケートを実施しています。市ホームページに掲載しているアンケートフォームより、皆さまのお声をお聞かせください!

